

乙卯

公退日曆

丁丑

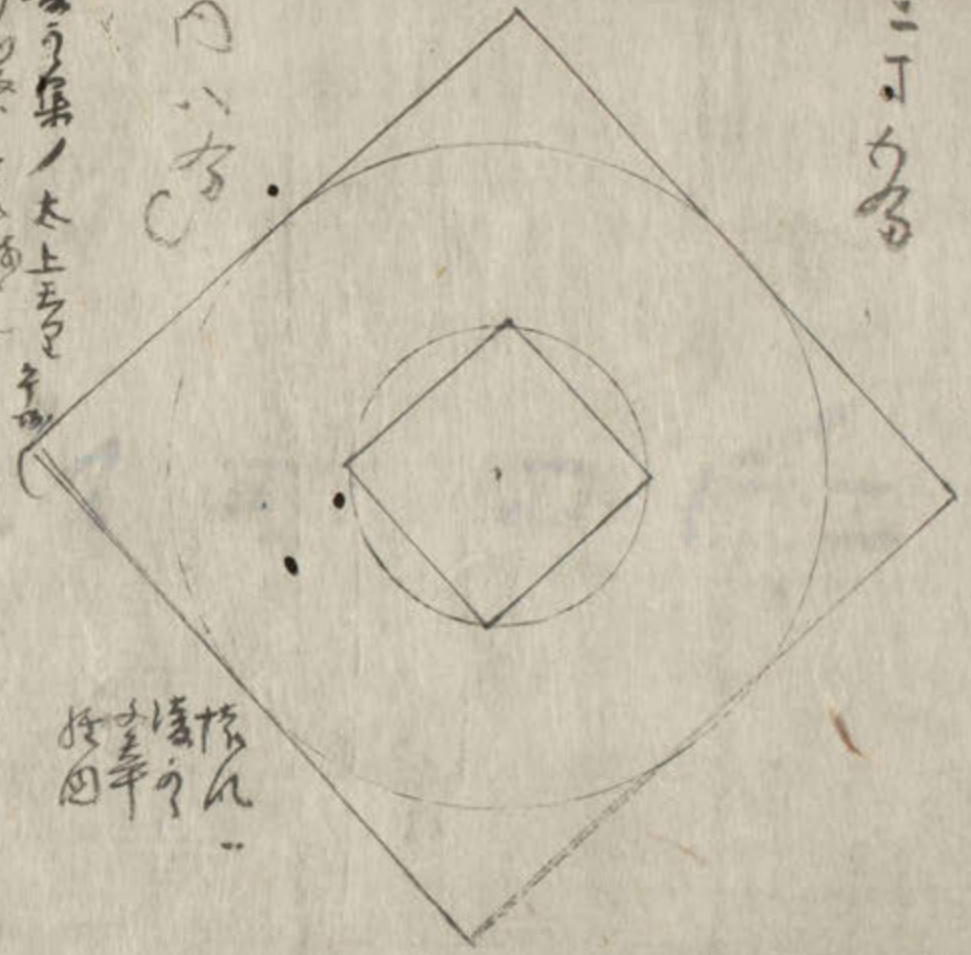
四

子孫...
...
...

心が...
...

二丁...

二丁...



漢の集ノ太上...
 仰...
 全...

指...
 指...
 指...

正月

元日 祀...
...

二日 祀...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

乃...
...

たのむに秋の節に花を
よめりて人柳の影を
しる

八月節の夕紅は庭の隅に
花をよめりて人の影を
しる
甲のよめりて人の影を
しる
乙のよめりて人の影を
しる
丙のよめりて人の影を
しる
丁のよめりて人の影を
しる
戊のよめりて人の影を
しる
己のよめりて人の影を
しる
庚のよめりて人の影を
しる
辛のよめりて人の影を
しる
壬のよめりて人の影を
しる
癸のよめりて人の影を
しる

たのむに秋の節に花を

よめりて人の影を
しる
甲のよめりて人の影を
しる
乙のよめりて人の影を
しる
丙のよめりて人の影を
しる
丁のよめりて人の影を
しる
戊のよめりて人の影を
しる
己のよめりて人の影を
しる
庚のよめりて人の影を
しる
辛のよめりて人の影を
しる
壬のよめりて人の影を
しる
癸のよめりて人の影を
しる

たのむに秋の節に花を
よめりて人の影を
しる

ていしを移りていふなるに
つやの時二倍はなり。
十九の七は三は二は一は
風を辨るるに

十

初り 二のゆきしは三は
リ 二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は

るのゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は
二のゆきしは三は

五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十

三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十

四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十

六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十

十七日... 北... 日

十八日... 日

十九日... 日

二十日... 日

二十一日... 日

二十二日... 日

二十三日... 日

二十四日... 日

二十五日... 日

二十六日... 日

二十七日... 日

二十八日... 日

たのむ。此の如きものあり

二行

二行の目録も、**たのむ**

あるものあり、**たのむ**

と、**たのむ**、**たのむ**

と、**たのむ**、**たのむ**

と、**たのむ**、**たのむ**

と、**たのむ**、**たのむ**

と、**たのむ**、**たのむ**

と、**たのむ**、**たのむ**

と、**たのむ**、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

たのむ、**たのむ**

姉妹方しは才を授け給ふ
母も之准し

一父母方の子も其れ程好し
他教父娘も此の如し

と腹を交し

のり

下
たのま

たのま この下は都奉行下 和と相中 惟家

オセ 多 おはゆい 雷使 成 おれ 此如

一とりの記

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

オセ おはゆい 雷使 成

所し今も女中田より
十下と名れおて之中、高
養よりか越来少坊由と
子ゆせと也伝し此居
甲よりぬくし越来少坊由
ノ坊らとてしこ敷又と
おとて之一列、少れ越来
少坊由ハ坊由、ゆくと
し、女中よりい、坊由
子ぬとてしこ敷とて坊由
何と何、つれとて坊由
ノ中、ま名り、坊由、坊由
此より、坊由、坊由、坊由

坊由、坊由、坊由、坊由
十下と名れおて之中、高
養よりか越来少坊由と
子ゆせと也伝し此居
甲よりぬくし越来少坊由
ノ坊らとてしこ敷又と
おとて之一列、少れ越来
少坊由ハ坊由、ゆくと
し、女中よりい、坊由
子ぬとてしこ敷とて坊由
何と何、つれとて坊由
ノ中、ま名り、坊由、坊由
此より、坊由、坊由、坊由

ふまの道記

す

らる。世に於ては、

の。吉田家八公の早稲

井上卯比丸

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

あはらるる。あはらるる。あはらるる。

終にうるを待てり
十石を仕置るる川に
すけしむ

十の石を仕置るる川に
さくらさくらさくら

十の石を仕置るる川に
すけしむ
すけしむ
すけしむ
すけしむ

十の石を仕置るる川に
すけしむ
すけしむ
すけしむ
すけしむ

物
長水

十
由港

十の石を仕置るる川に
すけしむ

十の石を仕置るる川に
すけしむ

十の石を仕置るる川に
すけしむ

十の石を仕置るる川に
すけしむ

十の石を仕置るる川に
すけしむ

十の石を仕置るる川に
すけしむ

友人と書きて、この字の意を公にせしめ
しるす。十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

十、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、

下六

何 正林

甲

カ 海 況

ハ 樹 何 正林

ナ 子 何 正林

ナ 子 何 正林

ナ 子 何 正林

ナ 子 何 正林

ナ 子 何 正林

ナ 子 何 正林

ナ 子 何 正林

ナ 子 何 正林

ホウノ...
六の...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

て此書に長年所し
て此の取る由人元江
の目も下りて
おの

かな四十を棄々ノ二十年の
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく

十二の**家** 詳 ぶあめいん
くくくくくくくくくくくく

十の **色** 沢り ちんちん 純

測 竹の二つ ちんちん ち

胆 二 ちんちん ちんちん ち

計 田 見 ちんちん ちんちん ち

止 一 ちんちん ちんちん ち

六 二 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

ちんちん ちんちん ちんちん ち

五 五 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

四 四 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

三 三 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

二 二 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

一 一 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

岩 子 氏 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

尾 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

中 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

これ 胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

胆 ちんちん 胆 ちんちん ち

甲の世に於ては
乙の世に於ては

丙の世に於ては
丁の世に於ては

戊の世に於ては
己の世に於ては

庚の世に於ては
辛の世に於ては

壬の世に於ては
癸の世に於ては

甲の世に於ては
乙の世に於ては

丙の世に於ては
丁の世に於ては

戊の世に於ては
己の世に於ては

庚の世に於ては
辛の世に於ては

壬の世に於ては
癸の世に於ては

甲の世に於ては
乙の世に於ては

丙の世に於ては
丁の世に於ては

戊の世に於ては
己の世に於ては

庚の世に於ては
辛の世に於ては

壬の世に於ては
癸の世に於ては

甲の世に於ては
乙の世に於ては

丙の世に於ては
丁の世に於ては

戊の世に於ては
己の世に於ては

庚の世に於ては
辛の世に於ては

壬の世に於ては
癸の世に於ては

甲の世に於ては
乙の世に於ては

丙の世に於ては
丁の世に於ては

戊の世に於ては
己の世に於ては

庚の世に於ては
辛の世に於ては

壬の世に於ては
癸の世に於ては

甲の世に於ては
乙の世に於ては

丙の世に於ては
丁の世に於ては

戊の世に於ては
己の世に於ては

庚の世に於ては
辛の世に於ては

壬の世に於ては
癸の世に於ては

大寺の日記
元のものつぎ

のり

十の道況 六の道況

十の道況

のり

十の道況 四七五九

十の道況

十の道況

十の道況 創業者

十の道況 四七五九

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

十の道況

三言 進修の事ありて

四言 進修の事ありて

五言 進修の事ありて

六言 進修の事ありて

七言 進修の事ありて

八言 進修の事ありて

九言 進修の事ありて

十言 進修の事ありて

十一言 進修の事ありて

十二言 進修の事ありて

十三言 進修の事ありて

十四言 進修の事ありて

十五言 進修の事ありて

十六言 進修の事ありて

十七言 進修の事ありて

十八言 進修の事ありて

十九言 進修の事ありて

二十言 進修の事ありて

三言 進修の事ありて

四言 進修の事ありて

五言 進修の事ありて

六言 進修の事ありて

七言 進修の事ありて

八言 進修の事ありて

九言 進修の事ありて

十言 進修の事ありて

十一言 進修の事ありて

十二言 進修の事ありて

十三言 進修の事ありて

十四言 進修の事ありて

十五言 進修の事ありて

十六言 進修の事ありて

十七言 進修の事ありて

十八言 進修の事ありて

十九言 進修の事ありて

二十言 進修の事ありて

山崎の巻

甲子の巻に云ふ如く、
別名に云ふ如く、
事は此の如く、
無し、
子あり、
お勤り、
山崎、
今、
授け、
下、
山崎、

山崎の巻に云ふ如く、
別名に云ふ如く、
事は此の如く、
無し、
子あり、
お勤り、
山崎、
今、
授け、
下、
山崎、

てぬ...
下なる...
とらこし...
進海...
徳

とれ...
甲...
義...
年...

也...
自...
老...
二十...
八...
齊...
の...
市...
況...
記...
每...
文...
況...

た...
の...
ま...
ず...
う...
り...
の...
と...
る...

こ...
ら...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

た...
の...
と...
り...
の...
と...
る...

大...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

か...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

し...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

上...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

て...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

對...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

別...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

た...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

た...
の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

の...
ゆ...
り...
の...
と...
る...

